



TOP > Essay : エッセイ

### ☆ 名言迷路 卍 迷言名路 ☆ 文・絵・手 宮島永太良

このページでは、私が今までに聞いて興味をもったワンフレーズを紹介し、それを考察しようというものです。史上言い継がれてきた諺、偉人の言葉から、著者の周り近所の人が発した言葉まで様々ですが、どれもこの世の中に暮らす人にとって、何らかのヒントになるのではないかと思います。

#### ○ 時は金なり

時間はお金と同等に貴重なもの、あるいは時間を大事にすれば、やがてはお金(宝)が生まれる、ということを表した、あまりに有名な諺である。



私はこの諺から、小学校の頃の、ある経験を思い出す。一つは、多くの方が経験あるかもしれないが、夏休み、冬休みの前に、休み中の一日の生活時間割を提出させられたことだ。私などは休みの1日目、2日目あたりから提出スケジュールを守れない方だったが、優秀な子でさえ、休みの前半は計画にそって生活したが、後半になったらダレてきた、という話をよく聞いた。

またもう一つ、6年生の時、隣のクラスの子供たちが自習時間中、まじめにやらずに無駄にふざけていて、あとで担任の先生が来てから叱られ、全員に「時間を無駄にしました」とノートに100回書きなさい、という罰を課されたのである。



それこそ本当の時間の無駄ではないのか、とツッコミたくなる話ではあるが、このベテランの先生はたぶんもっと奥が深く「君たちがやっていたことは、今罰としてやらされていることと同じくらい、時間を粗末にしたのだよ」ということを教えたかったのではないだろうか。今思えばなんともシュールなベナルティだ。関係ないがその先生は、顔の皮がよく伸びると評判だった。本当に関係ないことだが。

今思えば、前者からは、学校側の意図とは別に「時間とは思うままにならない」ということを教わり、後者からは、時間を無駄にした後の無念さを教えられた気がする。

多い少ないの差はあれど、人は一生を生きる時間が決まっている。その中で何を残せるか、何を生み出せるかは、まさに時間との戦い方に尽きるといってもよいだろう。「人は死ぬために生きている」ということを言っていた人がかつていた。これには、生を終えた時、人として何を残すことができるだろうか、という意味も少なからずあるだろう。死ぬ時のことを考えるのは嫌だという人もいかもしれないが、勇気を出して、自分の最後の時を多少なりともシュミレーションすることで、今後の時間の使い方も、少しは変わってくるかもしれない。



▲ Page Top

Photo by Sekikobo

#### ● Contents Menu ●

TOP

Topics

Event

Gallery

Art Works

Biography

Media

Talk

Friends

Essay

#### ● Information ●

Blog

Link

Contact us

Terms of use

Back number